

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	菅 麻紀
授業の目的・目標					
クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ファッションに役立つ企画展・展示会などの鑑賞で視野を広げ、レクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。					
授業の概要					
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝えることを学ぶ。					
成績評価の方法					
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。				平常点	50%
				レポート	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション		2		
2.	〃		2		
3.	〃		2		
4.	〃		2		
5.	学校行事・学科活動		2		
6.	芸術鑑賞		2		
7.	〃		2		
8.	健康診断		2		
9.	レクリエーション		2		
10.	〃		2		
11.	〃		2		
12.	〃		2		
13.	ファッション校外研修		2		
14.	〃		2		
15.	〃		2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度			
			2024年度			
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ITリテラシー			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	鈴木 栄人	
授業の目的・目標						
<p>自分のパソコンの使用環境を設定する。 Microsoft365を必要程度に利用することができるようになる。 これらのツールを使って、プレゼンテーションの資料を製作できるようになる。</p>						
授業の概要						
<p>自分のパソコンにインストールしたアプリの使用がある程度できるような知識を習得する。情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはMicrosoft365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったりリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携方法ができるようになる。</p>						
成績評価の方法						
<p>1. 各授業日に作成した提出ファイル 2. 平常点（授業に取り組む姿）</p>				平常点	40%	
				提出物	60%	
使用テキスト・教材						
<p>使用テキスト：なし 教材：自分のパソコン</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエン、インストール確認			2			
2. OSの基本操作、Zoomの使い方			2			
3. Webアプリとデスクトップアプリについて			2			
4. OneDriveの使い方。AdobeInst			2			
5. Adobeソフトのインストールの確認			2			
6. スマホとパソコンを連携させる			2			
7. Word, Excelアプリの紹介			2			
8. 生成AIの活用とプレゼン			2			
9. PowerPointを使ったコラージュ			2			
10. PowerPointを使ったコラージュ課題			2			
11. PowerPointをプレゼンの仕組み			2			
12. PowerPointから動画作成			2			
13. D科進路決定の紹介プレゼン作成1			2			
14. D科進路決定の紹介プレゼン作成2			2			
15. ナレーション入り動画確認			2			
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソーイング I A		実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	安藤 明子
授業の目的・目標					
被服製作をスムーズに進めるため、各道具の使い方を知り、デザイン・生地にあったテクニックを身に付ける。					
授業の概要					
被服製作において、作図及び縫製時に使用する基本的な用具を使い、手縫いとミシンのテクニック学ぶ					
成績評価の方法					
授業に取り組む姿勢・提出物に対する取り組み・提出期限を守るなどの事柄を総合して評価する。				学習意欲	60%
				提出物	40%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系①服飾造形の基礎テキスト、洋裁道具一式、指ぬき（革製でも金属製でも可）、A3クリアブック、油性黒細ペン、シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 服飾造形について・シラバス説明			2		
2. 使用道具の説明 仕付け糸の準備			2		
3. 用布（シーチング）のカット			2		
4. 手縫い しつけ・運針など			14		
折り代の始末（各まつり縫い）					
ホック類・ボタン付け					
星止め・糸ループ					
ろう引きの仕方					
5. ミシン縫い			10		
直線・ジグザグ・曲線縫い					
三つ折りミシン・袋縫い					
折り伏せ縫いなど					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
ソーイング I B		実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	20	1	安藤 明子 戸村 寿恵子	
授業の目的・目標						
人体を知り、平面作図の基になる原型を理解することで、今後の平面作図による被服製作につないでいく。						
授業の概要						
文化原型を基に平面を立体にすることを学ぶ。また、標準原型を調整して自分サイズの原型を制作する。						
成績評価の方法						
授業に取り組む姿勢・制作物に対する取り組みを総合して評価する。				学習意欲	60%	
				提出物	40%	
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系服飾造形講座①服飾造形の基礎テキスト、誌上・パターン塾Vol.1 トップ編、縮尺定規一式、定規一式、ガラスメジャー、カッターナイフ、シーチング						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 人体観察・原型について			1			
2. 採寸			1			
3. B原型を調整してトレース(用紙)			2			
4. シーチングトレース(用布)						
折り代の始末(各まつり縫い)			4			
5. 組み立て①ダーツ						
②肩・脇			7			
③後ろ中心						
④前中心						
⑤裾上げ						
6. 仮縫い・補正			4			
7. 自身原型制作			1			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度		
			2024年度		
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
ソーイング I C			実習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	40	1	安藤 明子
授業の目的・目標					
スカートの基礎知識と基本タイトスカートからのデザインに合わせた展開法を学び、デザインを形にすることを学ぶ。縫製テクニックを実践する。					
授業の概要					
基本的なタイトスカートから展開したスカートを制作する。ファスナー・ベルト付けや基礎縫いのテクニックを実践する。制作過程等を資料としてまとめる。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出状況及び提出期限、授業に対する取り組み等を総合して評価する。				学習意欲	40%
				課題	40%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形講座②スカート・パンツ、誌上・パターン塾スカート編テキスト、A4無地ルーズリーブ、A4リングファイル、洋裁道具一式、全定規一式、カッターナイフ、シーチング					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. シラバス 基礎知識			2		
2. 採寸・スカートサイズ原型制作			2		
3. パターン塾活用法			4		
4. 各自デザイン作図			4		
5. 折り代の始末(各まつり縫い)			2		
6. 裁断(シーチング)・ノッチ、印しつけ			2		
7. 工程説明・工程表			2		
8. 本縫い①ロックミシン・芯貼			20		
②ファスナー付け					
③脇縫い					
④裾始末					
⑤ベルト作り・付け					
⑥かぎホック・スナップ付け					
9. 仕様書			2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ソーイング I D		実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	80	2	安藤 明子
授業の目的・目標					
原型を使った一般的なシャツの製図法・構造・縫製法を学ぶ。					
授業の概要					
シャツの基礎知識、原型を使って製図、前立て・台衿・剣ボロ・ボタンホールなどのシャツの構成要素の縫製テクニックを使い自身のシャツを制作する。					
成績評価の方法					
作品の完成度・課題の提出及び提出期限・授業に対する取り組み等を総合的に評価する。				学習意欲	40%
				課題	40%
				提出期限	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウス・ワンピーステキスト、誌上・パターン塾トップ編テキスト、A4無地ルーズリーブ、A4リングファイル、洋裁道具一式、全定規一式、マスキングテープ、カッターナイフ、シーチング 金属定規					
			時間数		
1.	基礎知識	1	16.	⑨カフス作り・付け	
2.	実物製図	10	17.	⑩カフス作り・カフス付け	
3.	シーチングトレース・裁断・印し付け	8	18.	⑪ボタンホール・ボタン付け	
4.	組み立て	4	19.	部分縫い・剣ボロ	4
5.	折り代の始末(各まつり縫い)	8	20.	工程表・仕様書作成	1
6.	パターン	4			
7.	裁断・印し付け・芯貼	6			
8.	本縫い①上前身頃	34			
9.	②下前身頃				
10.	③後ろ見頃				
11.	④ダーツ				
12.	⑤ポケット				
13.	⑥ヨーク付け				
14.	⑦衿作り・衿付け				
15.	⑧袖作り・剣ボロ・袖付け				
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度		
			科目コード				
授業科目名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション技法			実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	安藤 明子		
授業の目的・目標							
一般的なワンピースの製図を応用して自身のデザインを造形する。コンシールファスナー付け・袖付けなどのテクニックを学び、一年次のまとめとして製図法や縫製法を生かす作品とする。							
授業の概要							
原型を使ったワンピースの製図法を学んだあと、自身の原型を使って製図をする。仮縫いをして体に合わせた後、パターンを作り縫製する。制作工程ではそれぞれの縫製法をを学び、資料としてまとめる。							
成績評価の方法							
作品の完成度・課題の提出状況・一年次のまとめの作品に対する取り組み方を総合的に評価する。					課題	50%	
					学習意欲	40%	
					提出期限	10%	
使用テキスト・教材							
文化ファッション大系服飾造形講座③ブラウス・ワンピーステキスト、誌上・パターン塾ワンピース編テキスト、A3クリアファイル、A4リングファイル、A4無地ルーズリーブ、洋裁道具一式、全定規一式、マスキングテープ、金属製定規、シーチング							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	基礎知識		1	9.	本縫い①コンシールファスナー付け		10
2.	パターン塾による製図法		2		②切替え線		
3.	各自デザイン1/2製図 実物製図		3		③肩・脇		
4.	折り代の始末(各まつり縫い) ②裁断・印し付け ③組み立て ④仮縫い・補正		2 2 2 2		④見返し・衿ぐり始末 ⑤袖づくり・袖付け ⑥ホック付け		
5.	パターン		2	10.	工程表・仕様書作成		1
6.	裁断・印し付け(表地・芯地)		2				
7.	芯貼・ロックミシン		1				
8.	部分縫い コンシールファスナー付け 見返し作り・始末		2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。				服飾造形 I			

シラバス(授業概要)			年度		2024年度
			科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションコーディネイト			実習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	長野 景惟
授業の目的・目標					
既存の基本パターンから制作の流れの理解、パンツ構造と縫製方法を身につける。					
授業の概要					
パンツの基本的な構造を学び、作図・仮縫いを経て体型に合わせたパンツを縫製する。					
成績評価の方法					
1. 作品の完成度 2. 作品の提出 3. 授業態度				課題	40%
				提出期限	20%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
誌上・パターンパンツ編テキスト、文化ファッション大系服飾③、洋裁道具一式					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業基本説明、採寸			1		
2. 実物製図			2		
3. 裁断、仮縫い			2		
4. 補正・パターン作り(縫い代つき)			2		
5. 折り代の始末(各まつり縫い)			2		
6. 部分縫い①サイドシームポケット			4		
7. ②脇ポケット			4		
8. 本縫い(ポケット・股下・裾)			4		
9. 部分縫い③ファスナー付け			2		
10. ④ベルト			2		
11. 本縫い(ファスナー・ベルト・ボタン又はホック)			4		
12. 仕上げアイロン、仕様書まとめ			1		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			服飾造形 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
パターンメイキング I		実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	90	3	戸澤 智也子	
授業の目的・目標						
基本的なブラウス・スカートのデザインをパターンに落とし込むことができるようになる。						
授業の概要						
既製服の流れを知り、パターンメイキングの基礎を習得する。						
成績評価の方法						
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%	
				課題	50%	
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系テキスト、誌上・パターン塾テキスト、配布プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 既製服の概念			4			
2. (用具、用語、J I S企画)						
3. ティッシュの箱の展開			6			
4. スカート			10			
タイト・フレア・ギャザー・タック						
5. ダーツの展開1			8			
6. デイティール (衿)			16			
7. デイティール (袖)			16			
8. ブラウス (トップス) 作図の考え方			18			
9. パンツ			12			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。			服飾造形、ドレーピング、アパレル素材論			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			アパレルCAD			

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ドレーピング I		実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	戸澤 智也子
授業の目的・目標					
立体裁断と平面製図の違いを理解できるようにし、製図時に応用できるようになる。					
授業の概要					
ドレーピングの基礎を習得。ドラフティングすることにより、人体構造が理解できる。デザインをパターンに落としこむことを容易にする。					
成績評価の方法					
課題評価、授業態度、出席率を総合して評価。				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系、配布プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 立体裁断と平面製図の違いについて			1		
2. 道具、シーチングの扱い方			1		
3. ベーシックスローパー (ストレート)			6		
4. ベーシックスローパー (タイト)			6		
5. ベーシックスローパー (タイト) 応用			6		
6. オリジナルデザインブラウス			10		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			パターンメイキング、服飾造形		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションデザイン I			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	大谷 順
授業の目的・目標					
ファッションデザイン画の基礎を習得する。様々な着装・素材・発想表現が出来る。					
授業の概要					
基本プロポーションから着装表現、オリジナルデザインの展開を総合的に習得し、発想表現からミニポートフォリオを制作する。					
成績評価の方法					
課題評価と学習意欲による点数。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
文化ファッション大系ファッションデザイン画テキスト、資料プリント、ケント紙、彩色用具					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業説明・基本プロポーション練習			4		
2. 基本プロポーション習得			4		
3. アイテム図1			4		
4. 重心の移動したヌードを描く			4		
5. 斜めからヌードを描く			4		
6. 写真のヌードを8頭身にする			4		
7. 着装表現 写真ポーズ			4		
8. 着装表現 ベーシックドレス			4		
9. 手、足、顔の書き方			4		
10. オリジナルデザイン 着色			4		
11. ファッション画作成			4		
12. ファッション画仕上げ			4		
13. 素材表現			4		
14. アイテム図2			4		
15. 発想練習 1			4		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度		
				2024年度		
				科目コード		
授業科目名		授業形態		学科・コース		
アパレル素材論 I		講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の必須要素『素材』に興味をもち、研鑽しようとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解し、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・繊維から布地・製品になるまで、各過程の流れを知る。 ・繊維、糸、布地の性質・特徴を学ぶ。 ・服飾造形の製作物と連動し、アイテム毎に向く素材をしり、表現の具現化に役立てる。 						
成績評価の方法						
1. 試験・課題（期末試験点数、実習課題の完成度） 2. 平常点（主体的授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの観点より総合的に評価する。				試験・課題	65%	
				平常点	20%	
				学習意欲	15%	
使用テキスト・教材						
アパレル素材論テキスト、生地的事典、改訂新版『白生地セット』、A4ファイル						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	シラバス説明	素材論の学びと活用	2			
2.	布地サンプルシート説明	作成	2			
3.	天然繊維①綿	麻	2			
4.	天然繊維②毛	絹	2			
5.	スカートに向く素材		2			
6.	化学繊維①再生繊維	半合成繊維	2			
7.	化学繊維②合成繊維		2			
8.	糸について		2			
9.	布地①織の三原組織		2			
10.	布地②編の三原組織		2			
11.	織実習①	三原組織モデル	2			
12.	織実習②		2			
13.	シャツに向く素材		2			
14.	カットソー素材		2			
15.	前期の復習	小テスト	2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス論			講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の必須要素『素材』に興味をもち、研鑽しようとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解し、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・繊維から布地・製品になるまで、各過程の流れを知る。 ・繊維、糸、布地の性質・特徴を学ぶ。 ・服飾造形の製作物と連動し、アイテム毎に向く素材をしり、表現の具現化に役立てる。 						
成績評価の方法						
1. 試験・課題（期末試験点数、実習課題の完成度）			試験・課題	65%		
2. 平常点（主体的授業参加度）			平常点	20%		
3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢）			学習意欲	15%		
これらの観点より総合的に評価する。						
使用テキスト・教材						
アパレル素材論テキスト、生地の記事、改訂新版『白生地セット』、A4ファイル						
授業内容・授業計画						
		時間数				時間数
1.	ワンピースに向く素材	2				
2.	布地の変化組織	2				
3.	布地の仕上げ加工①	2				
4.	布地の仕上げ加工②	2				
5.	布地の仕上げ加工③	2				
6.	その他の布地 レース	2				
7.	その他のアパレル素材 天然皮革	2				
8.	人工皮革	2				
9.	毛皮 羽毛	2				
10.	布地 編（ヨコ）	2				
11.	フォーマル素材	2				
12.	パンツに向く素材	2				
13.	裏地、副資材について	2				
14.	後期分復習	2				
15.	テスト	2				
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファーストプロジェクト			講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	30	2	カルフォ香奈	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチからアイデア発展させデザインを形にする方法を研究する。 ・アップサイクルのデザインを考えることで、今の時代に必要とされる意識を養う。 ・自分たちが作るモノを買ってもらおう体験して、デザインを売るという体験をする。 ・地域のイベントに参加し、クリエイションを通して人との関わりを楽しむ。 						
授業の概要						
BOOKOFF主催のアップサイクルデザインコンテスト「Reclothes Cup 2024」にむけてアップサイクルによるトータルコーディネートデザインのデザインをして応募する。 また、自身のアイデアをつかってトップスやバックなどの小物を実際に制作し、7月にある産学連携の伝馬町七夕祭りにて、販売する。						
成績評価の方法						
課題提出、学習意欲					課題	60%
					平常点	40%
使用テキスト・教材						
スケッチブック、洋裁道具、配布資料、絵具や画材						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 授業説明、コンテスト説明			2			
2. アップサイクル リサーチ、アイデアサンプル制作			6			
3. 1対1対話、アイデア発展			6			
4. デザイン画			4			
5. トップス/小物 作り			8			
6. プレゼン、			2			
7. 販売準備			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザインリサーチ I		講義・ 演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	90	3	カルフォ 香奈
授業の目的・目標					
興味ある事を服として表現できる楽しさを実感できる。 インスピレーションからリサーチ、発展、デザイン展開のながれを学ぶことができる。 作品のプレゼンをすることで人に伝える力をつけられる。					
授業の概要					
リメイクを基本に立体的に服のデザインをする。自分が興味あることを深くリサーチして、何を表現したいのかを研究しファッションデザインにどのように落とし込むかを考える。スケッチブックにプロセスを記録していき、最後のプレゼンの時に作品と一緒に発表する。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 (作品完成度、発想の独自性) 学習意欲 				課題	60%
				平常点	40%
使用テキスト・教材					
スケッチブック、デザイン画ベース用ひな形、原型パターン (メンズ・レディース)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業説明、自己紹介、			4		
2. 即興デッサン、リサーチ			18		
3. 即興デッサン、アイデア発展			18		
4. デザイン展開、立体制作			42		
5. プレゼン準備			4		
6. プレゼン			4		
				時間数	
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
色彩学		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	2	小長谷由紀子
授業の目的・目標					
<p>私たちは色に囲まれて生活をしています。その色から受ける影響は大きく、センスの良し悪しにも多いに関係があります。色彩検定とは色に関する幅広い知識や技能を問う検定試験であり、取得することで自信を持って配色ができるようになります。</p>					
授業の概要					
<p>テキストに添い理解を深めていきます。項目毎に小テストで定着率を確認し、誤答は必ず復習してから次に進みます。最終的には過去問題の合格ライン7割以上を安定してとれるようにします。</p>					
成績評価の方法					
<p>色彩検定3級合格に加え授業の出席率、授業の理解度、意欲を総合的に判断して決定します。</p>				平常点	100%
使用テキスト・教材					
<p>色彩検定3級テキスト、配色カード、のり、はさみ、筆記用具</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	光と色		4		
2.	眼のしくみ		2		
3.	混色		2		
4.	色の三属性		4		
5.	トーン		2		
6.	色彩心理		4		
7.	色の対比、同化		5		
8.	色相配色		5		
9.	トーン配色		5		
10.	慣用色名		3		
11.	ファッション		3		
12.	インテリア		3		
13.	過去問題		6		
14.	過去問題		6		
15.	過去問題		6		
その他			関連科目		
<p>※単元ごと演習課題を実施する。</p> <p>※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>					

シラバス(授業概要)				年度		2024年度	
				科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース		
ファッショントレンドI			講義 演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	菅 麻紀 相川 克彦		
授業の目的・目標							
パラダイムシフトの中におけるファッションの変化を理解しながら、新時代の業界人の役割を理解する。							
授業の概要							
世界のファッションビジネス&トレンドの重要なニュースを追いながら、業界の近未来を展望する。							
成績評価の方法							
課題提出および授業の出席率を総合的に評価					課題	60%	
					学習意欲	40%	
使用テキスト・教材							
ファッション週刊誌「WWDJAPAN」「WWDJAPAN Digital」(INFASパブリケーションズ)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	WWD JAPAN紙面よりトピック解説		3				
2.	"		3				
3.	"		3				
4.	"		3				
5.	"		3				
6.	"		3				
7.	"		3				
8.	"		3				
9.	"		3				
10.	"		3				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)			年度		2024年度		
			科目コード				
授業科目名			授業形態		学科・コース		
現代ファッション史			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	金原 陽子		
授業の目的・目標							
<ul style="list-style-type: none"> 自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。 アイテム毎にまとめて、変遷を知る。(服飾造形と連動) 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> 各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿り、『衣服』がその時々々の社会構造、人々の考えなどを反映したものであることを意識して学ぶ。 							
成績評価の方法							
1. 試験 (期末試験点数)					試験	65%	
2. 平常点 (主体的授業参加度)					平常点	20%	
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)					学習意欲	15%	
これらの観点より総合的に評価する。							
使用テキスト・教材							
西洋服装史テキスト、資料プリント、A4ファイル							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	シラバスの説明		1	9.	20世紀の服飾①ベルエポック		2
	古代～中世の服飾①		1		20世紀の服飾②オートクチュール		2
2.	古代～中世の服飾②		2	10.	20世紀の服飾③1920～1+A13:M23930		2
	16世紀の服飾①ルネサンス列強国		2		20世紀の服飾④～1945年		2
3.	16世紀の服飾②		1				
	17世紀の服飾①オランダスタイル		1				
4.	17世紀の服飾②ルイ14世時代		1				
	ここまでのまとめ		1				
5.	18世紀の服飾①ルイ15世時代		2				
6.	18世紀の服飾①ルイ16世時代		2				
7.	19世紀の服飾①第一帝政		2				
	19世紀の服飾②王政復古		2				
8.	19世紀の服飾③第二帝政		2				
	19世紀の服飾④第三共和制		2				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)			年度		2024年度		
			科目コード				
授業科目名			授業形態		学科・コース		
デザインアプリケーション I			講義・演習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	60	2	本野 智美		
授業の目的・目標							
デザインの現場で必須であるデザイン系ソフト、Illustrator、Photoshopを学びながら、ファッションにおけるグラフィックスキルの関連と重要性を伝える。							
授業の概要							
Illustrator、Photoshop各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。ツール等の基礎知識から始まり、簡単な図形制作から資料作成など、PCでデザインできる力を身につける。学期末課題の自己紹介資料制作では、将来的にデザイナーとして企業に勤めることを想定し、写真と文字の配置のセンスを磨く。							
成績評価の方法							
1. 学習意欲／取り組みの姿勢と真剣度 2. 理解度／基本操作の理解 3. 課題提出／発想力とデザインクオリティを評価対象とする					学習意欲	20%	
					理解度	30%	
					課題提出	50%	
使用テキスト・教材							
ノートパソコンは毎回持参・教科書配布～必要に応じてプリント配布							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	【Illustrator】基礎			16.	"		8
2.	・基礎知識～Illustratorのできる事		4	17.	・ペンツール／応用課題		
3.	・基本操作方法習得～様々なツール			18.	"		4
4.	"			19.	【Photoshop】基礎		
5.	"			20.	・基礎知識～Photoshopのできる事		4
6.	"			21.	・基本操作方法習得～様々なツール		
7.	"			22.	・画像加工と色調補正		4
8.	"		12	23.	【Illustrator+Photoshop】終了課題		
9.	・様々なツール／応用課題			24.	・課題オリエンテーション		
10.	"			25.	・発想～アイディア出し		
11.	"			26.	・素材集め		
12.	"		8	27.	・デザイン作業		
13.	・パスの描き方習得～ペンツール			28.	"		
14.	"			29.	"		14
15.	"			30.	プレゼンテーション～クラス内講評会		2
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーション II				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッション経済学			講義・演習		ファッションデザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀
授業の目的・目標					
多様化する社会的需要に応じて、ファッションの役割を様々な視点で学び、業界の基礎知識の理解を深め、創造に活かせる情報の引き出しを増やす。					
授業の概要					
社会動向や文化から派生するトレンドや実生活に包括的に拡大するファッションについて学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの観点より総合的に評価する。				平常点	40%
				学習意欲	60%
使用テキスト・教材					
映像資料					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. オリエンテーション			2		
2. 広義的ファッションとトレンド			2		
3. ファッションビジネスの変遷			2		
4. 50年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
5. 60年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
6. "			2		
7. 70年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
8. "			2		
9. 80年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
10. "			2		
11. "			2		
12. 90年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
13. "			2		
14. 2000年代 社会経済カルチャーとトレンド			2		
15. まとめ			2		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
キャリアプラン I			講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀	
授業の目的・目標						
社会で求められるコミュニケーションスキルと課題解決能力を養うと共に、ファッション業界を構成するアパレル生産・流通システム、そのほか服飾に関わる職種について知り、就職活動に向けた心構えと具体的な進路に向け必要な準備を行う。						
授業の概要						
社会性を養うための解説とワークショップ、ほかアパレルからコスチュームに関わる業種や職種一連を流通の流れに沿って解説する。						
成績評価の方法						
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの観点より総合的に評価する。					平常点	40%
					学習意欲	60%
使用テキスト・教材						
画像・映像資料						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション		3			
2.	コミュニケーション力について		3			
3.	問題解決ワーク		3			
4.	ファッション業界について		3			
5.	原料や材料を生産する【川上】		3			
6.	原料や材料から製品を作る【川中】		3			
7.	〃		3			
8.	〃		3			
9.	商品を消費者へ販売する【川下】		3			
10.	目標達成に向けて		3			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						